

SPring-8共用ビームライン計画趣意書の追加募集について

日本原子力研究所・理化学研究所・
財団法人高輝度光科学研究センター
(放射光利用研究促進機構)

大型放射光施設（SPring-8）では、平成10年度以降に整備する共用ビームライン計画を作成するため、昨年度に引き続き「共用ビームライン計画趣意書」の追加募集を行います。

今回の募集締め切りは、平成9年11月30日です。計画趣意書の作成要領及び計画趣意書の様式は、以下のとおりです。なお、昨年度「計画趣意書」を提出された方は、今回応募する必要のない計画もありますので、昨年度の趣意書に対するビームライン検討委員会からのコメントをご参照下さい。

「共用ビームライン計画趣意書」の作成要領

1. 「共用ビームライン計画趣意書」は、日本原子力研究所及び理化学研究所がSPring-8に整備する共用ビームライン（国内外、産学官の研究者等の利用に供されるビームライン）について、広く利用者から建設計画の提案を受けるための予備申し込みです。
2. 提出いただいた「共用ビームライン計画趣意書」は、SPring-8に整備する共用ビームラインの設計・建設計画の科学的・技術的内容等を検討評価するために設置した「ビームライン検討委員会」の審査を経た後、ビームライン検討委員会として更に詳細な計画内容を把握する必要があると判断した提案に対しては、別途「共用ビームライン計画提案書（英文）」の提出（提出期限は1月末を予定）を依頼します。
3. 計画趣意書の作成に当たっては、以下の諸点に留意して下さい。
 - (1)共用ビームラインは、全体で30本の整備を想定しています。それらのうち、最初の10本については、平成9年秋からの供用開始を目指して現在建設及び試験調整運転が進められています。今回の追加募集は、11番目から20番目までの10本の共用ビームライン計画について昨年度に引き続き実施するものです。

(2)近い将来、別途募集を予定している21番目から30番目までの共用ビームラインについては、挿入光源型のビームラインを主体にしたいと考えています。したがって今回の募集では、挿入光源型のビームライン計画も募集対象としますが、特に、偏向電磁石型ビームラインの提案を歓迎します。

(3)提案されるビームラインの長さについては普通長（約80m）、中尺（約300m）、長尺（約1,000m）のいずれでもかまいません。ただし、長直線部（30m挿入光源）の利用計画は、今回の募集の対象からは除外させていただきます。

4. 「共用ビームライン計画趣意書」は、次ページの様式に従い、ワードプロセッサにより、A4版6枚程度で作成して下さい。

5. 複数のビームライン計画（同一光源／同一光学系でないもの）をお持ちの方（グループ）は、各々の計画について「共用ビームライン計画趣意書」を作成し、優先順位を付けて下さい。

6. 「共用ビームライン計画趣意書」の提出締め切りは、今年度分は、平成9年11月30日（必着）です。郵送で下記までお送り下さい。

共用ビームライン計画趣意書送付先（問合せ先）

〒678-12兵庫県赤穂郡上郡町金出地1503-1

財団法人高輝度光科学研究センター

企画調査部

「共用ビームライン計画趣意書募集係」

岡田行彦

電話（07915）8-0960

FAX（07915）8-0952

共用ビームライン計画趣意書様式

1. ビームラインの名称（ビームラインの特徴を表し、他と区別できる名称。同一グループで複数の提案がある場合は、その優先順位を記入のこと）

2. 代表提案者及び提案グループ名

(1) 氏名 (グループ名：)

(2) 所属

(3) 連絡先 〒 住所

TEL (内線) FAX

E-mail

3. 研究概要

(1) 目的

(2) 内容（SPring-8で行う必要性を含めて記入して下さい）

(3) 国内外の他の放射光施設における研究の現状

(4) 本ビームラインを利用する国内外研究者・研究グループの予測（年間利用時間の予測を含めて記入して下さい）

4. 希望する光源の性質

(1) 光源の型、偏光利用の有無

(2) エネルギー範囲

(3) その他（安定性等）

5. 光学系の概要（概念図を添付して下さい）

6. 試料位置での光の性質

- (1) エネルギー範囲
- (2) エネルギー分解能
- (3) 光ビームサイズ
- (4) 光の発散角
- (5) 光子数 (光子数/秒)
- (6) 光ビーム位置の安定性
- (7) その他

7. 実験ステーションの概要 (概念図を添付して下さい)

8. 建設グループの構成 (ビームラインの建設に参加可能な主なメンバーのリスト：氏名、所属、建設における担当)

9. 設計・建設上の重要検討事項

10. 建設スケジュール (設計〈R & D〉、製作、据付調整、利用の各段階を年次計画で示して下さい)

11. その他 (安全性に関する事項等)

- (1) 反応性ガス使用の有無と種類
- (2) R I 試料使用の有無と密封・非密封の別及び種類
- (3) その他

12. SPring-8に建設中の10本の共用ビームラインとの関連 (現在、提案者〈提案グループ〉がSPring-8の共用ビームラインの建設に協力している場合は、当該ビームラインの建設と今回提案するビームライン建設との関連、提案者〈提案グループ〉の関与の程度、新たな共用ビームラインが必要な理由などについてお書き下さい)